

4期目に掲げた「4つの挑戦」の取組み状況

4つの挑戦を掲げて、4期目をスタート。2019年には、地域でのSNS講座など、予定していた活動に着手できましたが、2020年のコロナ禍で、多くの活動が中断をせざるを得ませんでした。そんな中、地域のラジオ番組（白石区・層別区）で情報発信や現場の声をインタビューしたり、小さなマジックを開いて売り先に回ったり、地元の農家さんと応援したり、オンラインを使って北海道の未来のための公開学習会をスタートするなど、コロナ禍にまけない地域をつくるために活動してきました。

社会企業家の地方議員® 100名の誕生をめざします

<現状>

社会企業家の地方議会議員®を名乗りたいと申し出てくれた方は2名。あと98人が参加してくださるまで活動を続けます。

<とりくみ内容>

- ①地方議会議員の活動の見える化のためのFacebookライブインタビューを実施
- ②講演やワークショップでの発信（北海道アウトドアフォーラム／ローカルマニフェスト推進連盟／社団法人サステナビリティダイアログなど）

すべての市町村で自然保育・自然学校などをつくり、子どもの外遊び環境を保障します

<現状>

自然保育制度を重点に、議会質問などを重ねてきました。最初3県でスタートした自然保育制度ですが、今は17県がネットワークに参画し、森と自然を活用した子育ち環境の支援が進められていますが、北海道は、まだ本格検討にもいたっていません。

<とりくみ内容>

- ①一般質問などで、道庁及び知事に提言を重ねてきました。残念ながら現知事は消極的。
- ②森のようちえん、自然保育の実践者からのインタビューを情報発信
- ③子ども基本法に備えたオンライン学習会などを開催

アウトドア推進議員連盟をつくり、地域の自然・文化資源・子どもたちの自然体験・アウトドア人材の育成にお金がまわる観光業を応援します

<現状>

2023年アドベンチャートラベルサミットが札幌で開催されます。アウトドア推進議員連盟にはいたりませんでしたが、新しいアウトドアガイド制度の創設などを側面支援しました。サミット後のアウトドア人財の育成、道内アウトドア業の振興・持続可能な発展力等課題です。

<とりくみ内容>

- ①アドベンチャートラベル（自然を舞台としたアクティビティや異文化体験を通じて、自らの内面が変わっていくことを目的とした旅行スタイル）の概念などについて公開の学習会を開催するなど、概念の浸透に努力
- ②アウトドア事業者や関係者の方からの声を聴き、道の施策に反映できるよう努力

独立型太陽光発電の普及、災害時にも役立つ日常的なSNSなどの活用も含め、災害に強い地域、白石区をめざします

<現状>

2019年に事務所の前に太陽光パネルをDIYワークショップにより設置。コロナ禍で独立型太陽光発電のワークショップ、かんたんSNS講座は中断しています。ご縁あって、コミュニティFMの番組を担当。防災無線がない札幌市における災害時のコミュニティFMの役割に注目。

<とりくみ内容>

- ①各種講座、ワークショップの実施（2019年のみ）
- ②コミュニティFMで番組を担当（2019年から現在）